こども・若者未来基金 2024

基金報告等

NPO 法人ちばこどもおうえんだんでは、こども・若者未来基金の趣旨に賛同し協力をいただいている生協団体の組合員の皆様はじめ、多くの市民に、社会的養護のもとで生活する子どもたちのことを知り、理解してほしい、また、その子どもたちに私たち大人が何ができるのかを一緒に考えてほしいと、毎年「春の報告会」と「秋のシンポジウム(2回)」を開催しています。本年度の春の報告会は以下の形で実施いたします。

日時

2025/5/24(±) 14:30~16:30 参加費無料 子どもの参加のK ※託児はありません)

場所

幕張メッセ国際会議場 会議室 103

基調講演

吉田 正浩さん (児童養護施設子山ホーム 園長

児童養護施設の子どもたちのくらし ~皆さまに知っておいて欲しいこと~

プログラム

- ●基調講演「児童養護施設の子どもたちのくらし ~皆さまに知っておいて欲しいこと~」
- ●子ども・若者未来基金 2024 年度助成報告
- ●助成を受けた若者たちとのトークセッション





認定特定非営利活動法人 ちばこどもおうえんだん

【開所時間】10:00 ~ 16:00 (土日祝除く) 〒263-0051 千葉県千葉市稲毛区園生町 1107-7

Tel/Fax: 043-205-4046

申込受付は 4月15日から 5月20日正午まで

申込方法

参加希望の方は<mark>右に記載</mark>されている二次元バーコードより参加 申込みフォームに<mark>ア</mark>クセスし、必要事項を送信してください。 電話・FAX*での*お申込みも受け付けており<mark>ます</mark>。_______

- TEL/FAX 043-205-4046
- ■記入事項

お名前・メールアドレス・住所 所属

(パルシステム千葉・生活クラブ生協・なのはな生協・その他)

☑: chiba.kodomo_ohendan@fuga.ocn.ne.jp

URL: http://kodomo-ouendan.com

X(旧Twitter): https://twitter.com/kodomo_ouendan



こども・若者未来基金 2024 年度報告

皆さまのご支援で成り立っている「こども・若者未来基金」の 2024 年度の給付額が決定しました。 2024 年度は 16 名(24 件 6,310,000 円)の若者をおうえんすることが出来ました。 加えて「緊急サポート」に 1 名 70,000 円、「寄り添い型支援」に 3 件 900,000 円給付出来ました。

2024年度寄付総額

7,305,442円

ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました!



メニュー	助成内容	件数	決定金額
くらしスタート	一人暮らしをはじめるための費用の応援	11件	2,750,000
くらしサポート	大学生の在学期間の生活費の応援	2件	960,000
まなびサポート	大学等の入学金や学費の応援	9件	1,800,000
資格サポート	資格取得(免許証など)の費用の応援	0件	0
入学金つなぎサポート	他の奨学金が支払われるまでの入学金の建て替え	2件	800,000
	合計	24件	6,310,000
緊急サポート SOS	通年で出来るだけ早いスピードで対応する援助	1件	70,000
寄り添い型支援	伴走者が若者のために自由に使える費用の補助	3件	900,000
		総計	7,280,000

こんな若者を応援しました!

「こども・若者未来基金 2024」で助成申請のあった若者たちの声を一部お届けします。 2024 年度は 16 (*) 名の若者をおうえんすることができました。※子どもたちの状況により変動あり

将来の目標は調理師です。一人前になるまで越えなければいけない壁はいくつあって、またどれほど高くそびえたっているのか。それでも私は調理師になりたいです。自分の料理がお客様を幸せにするところが見たい。 笑顔で「ごちそうさまと」言われたい。

くらしスタート・くらしサポートMさん

これまでに学んだプログラミングを活かし、システムエンジニアとして働くことが決まっています。新たな一歩を踏み出すために心と体に余裕を作り豊かに生活できるよう頑張りたいと思います。

くらしスタートYさん

将来の夢はアニメ関連の仕事に就くことです。専門学校では作品全体の雰囲気やキャラクターの魅力を引き出すような技術を身に着けたいと考えています。今までの経験やこれから学ぶことを活かして、 一歩ずつ夢へと近づいていきます。

くらしスタート・まなびサポート・つなぎサポートKさん

大学に進学します。高校の授業で世界史を学び、 海外の雰囲気を五感で楽しんでみたいと強く感じ ました。二年時に行われる短期留学にも参加した いと考えています。大学生活での発見や体験をも とに就きたい職業を見つけていきたいです。

まなびサポートSさん